

2017 AUTUMN  
Vol.33

TSUNAGU

【繋ぐ】

究める Special Issue:

# 驚嘆のマテリアル表現 「<sup>う</sup>浮き<sup>と</sup>十<sup>え</sup>重<sup>がみ</sup>紙」

訪ねる+ 越前和紙1500年の  
歴史文化に酔いしれる

作る ハロウインを盛り上げる  
「ジャック・オ・ランタン」

# 驚嘆のマテリアル表現 「う浮きと十え重がみ紙」

金属や皮革など複数のマテリアルを思わせる、紙でできているとは信じがたい独特の質感。  
重ね合わせた紙に精美なエンボス加工を施し、鮮やかな色彩と光沢をまとった半立体作品は、  
どこか妖異な生命力と耽美な魅力に溢れています。  
作家は、若手注目株としてファンを拡大し続ける萬歳ばんざい 淑しゅくさん。  
彼女がこの手法にたどり着く背景には、  
紙の特性を理解し、その弱点を強みに変えるための探究の日々がありました。

- 究める** ..... P01  
驚嘆のマテリアル表現  
「浮き十重紙」
- 特別企画** ..... P06  
TSUNAGUアーカイブス  
ご紹介した作家たちの「いま」を  
最新情報とともにレポート
- 先どる** ..... P06  
つくって食べて楽しめる  
「オリニギリ」とは？
- 伝える** ..... P07  
伝説の雑誌編集者から届いた  
真情溢れる一通の礼状
- 訪ねる+** ..... P09  
越前和紙1500年の  
歴史文化に酔いしれる
- 出会う** ..... P11  
対話にこだわる  
主力営業マンの矜持
- 使う** ..... P13  
1枚から紙を買える  
ネット通販「Papermall」
- 深める** ..... P14  
KPPの最新ニュースを  
キャッチアップ
- 訪ねる** ..... P15  
紙の魅力を体感できる  
「ペーパーイベント・カレンダー」
- 作る** ..... 付録  
ハロウィンを盛り上げる  
「ジャック・オ・ランタン」

紙の弱点をロジカルに解決し、進化し続けることで  
観る人に驚きを与える作品をつくっていききたい。



萬歳 淑さん  
BANZAI SHUKU

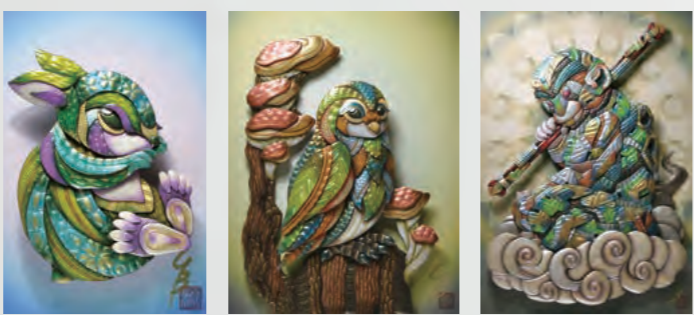
1983年、東京生まれ。2006年に成蹊大学文学部国際文化学科卒業後、一般企業での社会人生活を経て「アートフェア東京2013」にて作家デビュー。翌2014年には個展「浮き十重紙展」を開催。独創性の高い作風が話題を呼び、以後、百貨店での展覧会を中心に、出展、精力的な創作活動を続ける。

HP: shukubanzai.com

小さく切り出した紙のパーツに細かい模様の凹凸を加え、金属や陶器、皮革にも似た質感を具現化。それらを幾重にも組み合わせることで生物特有のしなやかな曲線を描き、生き生きとした躍動感と生命感を表現する。その作品には、性質の異なるマテリアルが混ざった異質感と同時に、それぞれが有機的に結びつくことで生まれる統制のとれた一体感があります。

「まったく関連のない真逆のものをミックスしてみる。それが私の作風のコアなかもしれません」。そう話すのは、作家の萬歳 淑さん。「紙の柔らかさと金属の硬さ、この2つの質感を混ぜ合わせてみたらどんな作品ができるのだろう。そんな思いがいつも心の底にありました」。紙とは

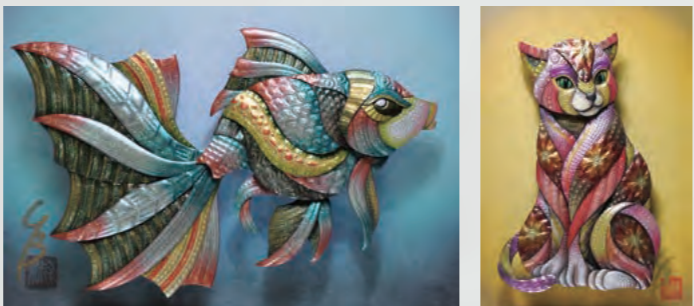
思えない質感の追求をテーマとして、萬歳さんはこれまでに、金属、皮革、七宝、岩肌、プラスチック、陶器、漆目、錆、鱗、貝という10種類の質感表現に挑戦。それぞれの加工を施した小さなパーツをモチーフの特性に合わせて自在に織りませることで、自ら「浮き十重紙」と名付けた独創的な作品を生み出しています。「紙でいろいろな質感を表現する研究そのものが好きだし、いまでも多くの時間を費やしています。そのなかで得た新しい発見を次の作品に取り入れる。こうした作業を続けることで、常に進化した作品を提供していきたいと思っています」。紙でありながら、紙らしくない。萬歳さんの作品は、飽くなき探究心によってバージョンアップを続けています。



「不撓なる意志」(2016)

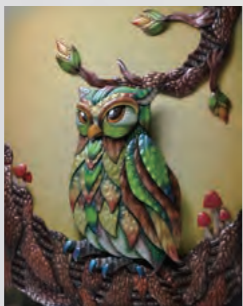
「望む者への標」(2017)

「花芽の和らぎ」(2017)

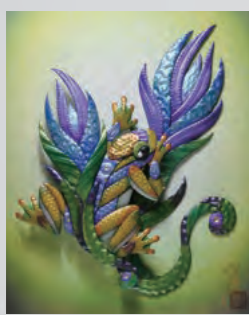


「いとをかし」(2016)

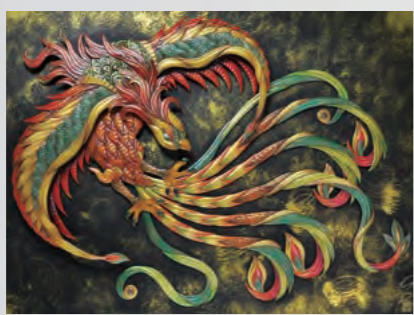
「狹霧の艶めき」(2017)



「恵を知る者」(2016)



「隠者の命数」(2016)



「閃耀まといて、我風となる」(2016)



「邂逅への輝跡」(2016)

小さな頃から絵を描くことが好きだったという萬歳さん。高校までは趣味としてイラストを中心とした作品づくりは続けていたものの、大学は文学部に進学。美大出身者が大半を占める他の作家とは異なるキャリアを歩んできたそうです。「大学では美術部に所属し、展示会を企画するなどの活動に取り組んできましたが、作家になろうとは思っていませんでした。何より絵を描くという自分の好きなことを、就職活動から逃げる理由にすくなかったので、卒業後は一般企業に就職したんです」と萬歳さん。こうして会社員として働きはじめたものの、作品づくりへの思いが募り1年で退社。その後、アルバイトや再就職を続けながら美術予備校でデッサン、専門学校でWeb、グラフィックデザインを学び、紆余曲折を経て作家としての第一歩を踏み出すことになりました。「時間はかかりましたが、私にとつてすべてが必要なことだったと感じています。これまでの社会人経験を通して感じたこと、経験したことの一つひとつが、小さな紙のパーツ1枚1枚になり、それが積み重なることで自分の作品になっている。いろんな道を歩んできたからこそ、作品を通して生命の厚みのようなものが表現できたらと思っています」。

アルバイトを続けながらも本格的な作家活動をスタートした萬歳さんは、2012年に開催されたアートイベント「デザインフェスタ」への出展を決意。作品の独自性を模索するなかで選んだ素材は、大学時代の作品に使用していたトレーシングペーパーだったそうです。「昔から透明感があつてキラキラするものが好きだったことを思い出して、トレペを使って紙の透明感と金属の質感を掛け合わせた作品をつくらうと思っただんです」。そこから1カ月は試行錯誤の連続。悩みながら工夫を重ねた末に、いまの技法の原型にたどり着いたと、当時は振り返ります。

「何」も慎重に進める」という萬歳さんが次に取り組んだのは、作品の寿命を伸ばすための改良を施すこと。「お客さまに1日でも長く作品を楽しんでいただくために、現状のまま長く維持させる工夫が必要だし、それが作家の責任だということに気がついたので。そこから、紙の弱点は何かを見つめ直し、見つかった課題の解決策を探ることの繰り返しでした」と萬歳さん。トレーシングペーパーの「湿気の影響を受けやすい」という弱点を克服するために、耐水性のある樹脂を塗り、その上から樹脂と馴染む顔料インクやアクリル絵の具で着彩する。パーツ

# 特別企画

過去に登場した作家の“いま”をレポート  
「TSUNAGUアーカイブス」

創刊11年目突入を記念した特別企画。  
これまでに本誌でご紹介した作家・企業さまの活躍をご紹介します。

アーティストとのコラボレーションにも積極的に参加。  
自然との共生、和紙文化の豊かさを継承し続ける。



①②③「高知県梶原町の和紙職人 ロギール・アウテンボーガルト×建築家 隈研吾」展(2017年、LIXILギャラリー)での展示。  
①は壁から天井まで土佐和紙の技法と洋紙の原料を組み合わせた「和欄紙」を複数種類つないで特殊なシワ加工を施したインスタレーション。②はシダの葉を織り込んだ和紙。③は土佐和紙を使った照明作品「スタンド照明」(2005年) ④2016年3月、「復興の森」で開催された紙漉きワークショップの様相

手漉き和紙作家

## ロギール・アウテンボーガルト

DATA TSUNAGU掲載 | 2015年夏号(Vol.23)  
WEB | rogier.jp (アーティストサイト)



無肥料、無農薬で自家栽培した原料を使い、土佐和紙の伝統的な技法を用いて自然素材の風合いを生かした手漉き和紙をつくり続ける、ロギール・アウテンボーガルトさん。現在も高知県梶原町の工房を拠点に、アート作品の創作やワークショップ、講演など、多方面での活躍を続けています。近年では、他ジャンルで活躍するアーティストとの共作にも積極的に参加。世界的建築家、隈研吾さんとの展示会では、「和紙の洞窟」をイメージしたインスタレーションをはじめ、独自のオブジェ作品や紙漉きの道具、植物素材などの展示を行い、大きな反響を呼びました。そのほか宮城県東松島にある「復興の森」で開催された紙漉きのワークショップにも講師として参加。日本の豊かな自然との共生、和紙文化の素晴らしさを伝える活動にも積極的に取り組んでいます。

### 「紙漉き体験民宿 かみこや」

ロギールさんの手漉き和紙を内装に使用した1日1組限定の宿「かみこや」  
(12月～2月は休業)では、同氏の指導による紙漉きも体験できる。

住所: 高知県高岡郡梶原町太田戸1678  
TEL: 0889-68-0355  
HP: kamikoya-washi.com

INFO

# 先どる

紙の“先端”にフォーカス  
「EDGE of PAPER」

## つくって楽しい! 食べて美味しい! 遊び心を刺激する「おにぎり」アイテム

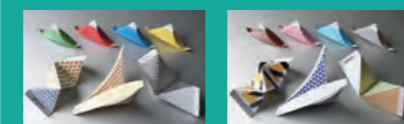
子どもの運動会や遠足、紅葉狩りにハイキングなど、秋は屋外でのイベントを楽しむ季節。秋の涼風のなか、家族や仲間と楽しむ行楽弁当は格別なものです。その主役といえば、日本人のソウルフード「おにぎり」。三角や俵型、丸型などの定番の形よりも個性的で、つくる人も食べる人も楽しめるアイテムとして話題なのが「オリニギリ」です。これは、「おりがみ」と「おにぎり」を掛け合わせた造語であり、おにぎりを成型するための台紙です。使い方はとっても簡単。折り目をつけた「オリニギリ」の上に、ラップ、海苔、ごはん、具を順に乗せたら、折り目に沿って畳むだけ。慣れ親しんだ折り紙の感覚で、富士山型や千鳥型、複数の三角錐が連なった形など、ユニークなおにぎりが完成。またごはんには具材を混ぜたり、海苔をカットするなど、アイデア次第でレシピが無限に広がります。

この「オリニギリ」は、東日本大震災後のボランティア活動から生まれたもの。復興イベント「東北風土マラソン」でもランナーに無料配布され、子どもたちを対象としたワークショップでも好評を博したそうです。手にするだけで自然と笑顔と会話が広がる「オリニギリ」。週末のお出かけで活躍すること間違いなしです!

## 「オリニギリORINIGIRI」

販売: 向日葵設計 HP: orinigiri.com

## オリニギリ<sup>®</sup>



「オリニギリORINIGIRI」  
白セット/黒セット(各4枚組)  
※amazonほか、全国雑貨店にて販売中。



③ 紙をカットする

写した下絵の輪郭に沿って、ハサミでカット。今回制作したパーツの総数は、約90点。

② 素材となる紙にトレースする

あらかじめ樹脂等で加工しておいた素材となる紙のなかから色や質感が合うものを選び、ライトテーブルを使って下絵を写していく。

① 下絵、設計図をつくる

下絵を描いた後、パーツを重ねる順番を考え番号を振る。重ねる枚数、厚みを持たせる部分を決めたらエンボスする模様をデザインし、設計図に描き加える。

⑥ パーツを貼り合わせる

設計図に沿って小さなパーツを貼り合わせて成型。最後に仕上げ用のニスをかけ、光沢を出す。

⑤ 着色する

数色のアクリル絵の具を重ね塗りすることで、イメージする色を表現。塗りムラや筆跡が残らないように細心の注意を払う。

④ エンボス加工を施す

数種類の鉄筆を使い分け、表裏それぞれに微細で美しい凹凸を施す。

完成

萬歳さんの「浮き十重紙」ができるまで

### INFORMATION 萬歳さんが作品を出展する展示会

#### 「KOWAII展」

■会期: 2018/1/29(月)～2/10(土) ※日祝休  
■会場: art data bank (東京都中央区銀座7-10-8 第5太陽ビル1F)  
■開館時間: 11:00-19:00 ■問い合わせ: 八天堂  
■TEL: 03-6453-2987  
※その他、2018年1月初旬に都内百貨店で開催されるグループ展への参加を予定。

にエンボス加工を加えることで、紙の反り返りを防ぐ。変色を少なくするために耐光性のある顔料インクやアクリル絵の具を選び、UVカット効果のある仕上げ用ニスを塗る。作品を軽量化するために接着部分を減らし、パーツの折り方、重ね方を改良する。萬歳さんの作品のオリジナリティは、紙の特性をいかに二つひとつ分析し、その弱点を強みに変えることで確立されていきます。「そして、質感表現の幅を広げるための方法を探るなかで、和紙の繊維が金属や柾目、皮革等の筋に見立てられることに気がついたんです。トレベと和紙を重ねたものに樹脂を塗ることで、紙であって紙じゃない、私だけの質感をつくることになりました。萬歳さんが選んだ和紙は、世界「薄いと云われ、美術品や文化財の修復にも使用される」土佐「具帖紙」。極薄かつ強靱な和紙を使用することで、萬歳さんの作風はさらなる発展を遂げていきます。

2013年14年のアートフェア東京を経て、萬歳さんの作品は多くの人の注目を集めることになりました。複数のギャラリーから出展の誘いを受け、都内百貨店で開催される展示会への出展、個展開催と活動の幅を広げ、現在では独創性のある作家として、その知名度と人気が高まっています。「私のアートワークの本質は、観る人に驚きを与えること。これからの新しい素材をどんどん取り込みながら、心に強く残る作品をつくっていきたくと思っています」と萬歳さん。この先どのような進化を遂げていくのか、その活動に注目です。



# 「手紙」は語る

植村 鞆音

人間は表現する動物だというが、手紙は人間の表現のなかでもっとも深く高貴なものだと思う。手紙は手書きがいい。眼光紙背に徹すれば、書き手の人となりが見えてくる。

## 第十二回 池島信平【前編】

わたしが世に知られた人に出会った最初は、池島信平さんだった。それはたぶん昭和二十年初夏のこと、わたしは七歳だった。どうしてそんなことが分るかというと、わたしはそのとき父から池島さんが兵隊さんだと紹介された。「文藝春秋三十五年史稿」をあたってみると、池島さんが約一年半の満州文藝春秋社勤務から内地に戻ったのが昭和十九年九月。翌二十年五月には海軍に召集されているので、兵隊だった期間は応召した五月から終戦の八月までのわずか四か月間だったことが特定されるのである。

場所は、日本海の砂丘の上に建つ新潟のわが家。後に、「ハンマーで二、三回たたくと崩れてしまいそうな家だったな」と池島さんにいわれた借家だった。

父は当時旧制新潟高等学校の東洋史の教授だったが、東大を卒業して副手をしているころ生活のために府立五中の教師を兼ねていたことがあり、池島さんは五中での最初の教え子のひとりだった。

池島信平という人物を知らない読者のために一言しておく、彼は戦前の昭和八年に文藝春秋社が初めて採用した新卒社員のひとり、貫して編集畑を歩き、戦後間もなくの雑誌文化の旗手だった。後に同社の社長になるが、「文藝春

ずかった。酒好きの池島さんのために日本酒も供された。池島さんは赤ら顔をさらに赤くされ上機嫌で、鮎の甘露煮をつまみながら「鮎だ、鮎だ」と大声をあげておられた。

いま思い出して不思議なのは、終戦を目前にしたあの時期によくあんな食材が手に入ったと思うのだ。おふくろがあたりを駆け回って夫の教え子のために物資をかき集めたに違いない。池島さんの従軍地はたしか千歳で、奥さんの故郷が柏崎。その日、池島さんは柏崎から北海道に向う途中新潟に寄られたと記憶するが、お土産がチーズだったのが、これまた、当時としては想像を絶するぜいたく品だった。池島さんの実家は本郷の牛乳屋さんだったというから、その伝手があつたのかもしれない。父が池島さんのことを「シンペイさん」と呼ぶのだが、わたしは、兵隊からの連想で「新兵」と思いこみ、ずいぶん豪儀な「新兵」だと幼心に憧憬の気持ちを抱いた。



いけ しま しん べい  
**池島 信平**

編集者(文藝春秋 元社長)  
1909-1973

東京都文京区出身。戦後の雑誌文化を支えた編集者。東京府立第五中から旧制新潟高等学校を経て、東京帝国大学文学部を卒業。文藝春秋社初の公募入社試験に合格し、入社後は雑誌『話』や『現地報告』の編集に携わり、1944年に編集長に。1966年には同社第3代社長に就任。著作に『編集者の発言』『歴史好き』など。日本文学振興会理事長も務めた。

秋」の編集の顔として、戦後の二期、「週刊朝日」の扇谷正造、「暮しの手帖」の花森安治と並んで三大編集長のひとりと呼ばれた。うちの父の感化も多少はあつたのではないかと憶測するが、歴史好きで、大学を卒業したら歴史の教師になろうと思っていた時期もあるとわたしに語ったことがある。文藝春秋の創始者である菊池寛の人物に興味を抱き、なかば「ひやかし半分」で受けた文藝春秋の最初の大卒入社試験に合格して、編集の道に足を踏み入れた。筆記試験の出題は菊池寛によるもので、「島左近」「ロクサーヌ姫」「エンコのテキ屋」「ゲレンデ」などの用語百問を簡明に解説しろという記入式の問題だったが、池島さんは何百人かの応募者の中から選ばれた六人の新卒社員の首席だったという。よほどの物知りだったのだろう。

余談になるが、わたしは、大学卒業後せっかく入社した映画会社に二年間で見切りをつけ、翌年文藝春秋の新卒入社試験に挑戦したが見事に失敗した。

池島さんが新潟の拙宅に見えた日の夕食はタラのチリ鍋だった。はるか飯豊山脈を望む二階の客間で、母とともに姉、妹、わたしもお相伴にあって、池島さんと新潟との思い出はもうひとつある。あれはわたしが大学入試に失敗して自宅でごろごろしていたころのことである。近くの護国神社の丘の中腹に坂口安吾の「ふるさととは語ることなし」という詩碑が建ち、それを記念して市の中央にあるデパートのホールで池島さんや檀一雄さんの講演会が開かれたことがあった。

そのときも池島さんは、予告もなくひとりわが家を訪ねてこられた。あいにく父は不在だった。暑い日のことで、わたしはたしかランニングにパンツという姿で玄関先に飛び出していったのだが、浪人中の身でもあり、当時文春の編集局長として盛名の高かった池島さんをまぶしく感じたことをまざまざと思い出す。しかし、その時はまだ、池島さんに生涯お世話になることなど考えてもみなかった。

わが家に残された池島さんからの直筆の手紙は父宛の葉書二通しかない。いずれも父が新潟「加島屋」から届けたお歳暮への礼状である。「おかげで、わたしもずっと快調ですが、寒さの折から、専ら自愛中です。ただ酒のない冬の夜というものは、いかにも散文的でございます」

父は酒が飲めない質だったからこのことを理解したかどうか分らないが、父に比べいくらか酒を嗜むわたしには、たしかに、酒がある人生のほうが詩的かもしれないという気がしないでもない。



著者略歴

植村 鞆音 エッセイスト

小説家・直木三十五の甥、東洋史学者・植村清二の子として愛媛県松山市に生まれる。1962年早稲田大学第一文学部史学科卒業後、東映、テレビ東京に勤務。1994年同局常務取締役。1999年(株)テレビ東京制作代表取締役社長。DACグループ顧問。農業生産法人NIKI Hillsファーム相談役。2005年「直木三十五伝」で尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞受賞、2007年「歴史の教師植村清二」で日本エッセイスト・クラブ賞受賞。主な著書に『夏の罫』『気骨の人 城山三郎』など。

**EVENT INFORMATION**

~10/16(月) **EXHIBITION**

**木版画作品展**

越前和紙を使用し、日本の美しい原風景や季節の花々などをモチーフにした木版画を紹介。

**DATA**  
 ■会場：パピルス館1Fロビー  
 ■問い合わせ：パピルス館  
 ■TEL:0778-42-1363

9/30(土)~11/5(日) **EXHIBITION**

**秋の特別展 和紙の真髄 —越前奉書の世界—**

紙の文化博物館リニューアルを記念した第2弾イベント。越前奉書の発展の歴史を貴重な資料とともに紹介する。

**DATA**  
 ■会場：紙の文化博物館  
 ■問い合わせ：紙の文化博物館  
 ■TEL:0778-42-0016

10/7(土)~11/5(日) **EXHIBITION**

**紙の装い —複製本願寺三十六人集にみる料紙の美—**

越前和紙を用いて複製された「本願寺三十六人集」をもとに、文字と紙が織りなす料紙装飾の粋を紹介する。

**DATA**  
 ■会場：卯立の工芸館  
 ■問い合わせ：卯立の工芸館  
 ■TEL:0778-43-7800

**今立五箇の街並みも見どころ**



和紙の里通りから歩くこと約10分。水路に沿って伝統的な民家が軒を連ね、美しい街並みが現れる。山あい広がるこの五箇地区は、千数百年にわたって越前和紙づくりを支えてきた街であり、今なお約50軒の工房や工場が操業を続けている。清らかな水と豊かな自然、瓦屋根と白壁の家が織りなす景観は、「美しい日本の歴史的風土100選」に選ばれるほど。越前和紙が重ねて来た長い時間に思いを馳せつつ、秋の散策を楽しみたい。



**越前和紙の里**

■住所：越前市新在家町(和紙の里通り)  
 ■アクセス：JR武生駅から福鉄バス南越線「和紙の里」下車徒歩すぐ  
 ■定休日：年末年始(卯立の工芸館、紙の文化博物館は毎週火曜定休。ただし祝日の場合は営業)  
 ■問い合わせ：パピルス館  
 ■TEL:0778-42-1363  
 ■HP:www.echizenwashi.jp

**岡太神社・大瀧神社**

■住所：越前市大滝町23-10  
 ■アクセス：JR武生駅から福鉄バス南越線「和紙の里」下車徒歩約15分  
 ■問い合わせ：岡太神社・大瀧神社社務所  
 ■TEL:0778-42-1151

全国の点在する和紙産地の中でも、とりわけ長い歴史を誇る「越前和紙」。奈良の正倉院に残る古文書には4〜5世紀ごろには越前で紙漉きが行われていたことが示されるなど、古くから有力な産紙国だったことが知られています。また明治元年に発行された日本最初の紙幣「太政官金札用紙」に採用されるなど、越前和紙は高品質の和紙として広く認知されています。和紙自体の強靱さだけでなく、優雅で柔らかな質感と高貴な光沢から、横山大観や平山郁夫ら日本画の大家も愛用。また先ごろ、17世紀のオランダ人画家、レンブラントの版画作品に、和紙が使われたという調査結果が発表され、大きな話題となりました。

この1500年の伝統を今に受け継ぐ越前和紙の魅力を伝えるのが、越前和紙の里通りにある3つの施設。越前和紙の発展の変遷をたどる「紙の文化博物館」、伝統工芸士の職人技を間近で見学できる「卯立の工芸館」、オリジナルの和紙づくりを体験できる「パピルス館」の各施設をくまなく見学することで、歴史ロマンに彩られた越前和紙の魅力を十二分に体感できるはずです。今も、いたるところに紙漉き工房が点在する産地・今立五箇の街並み、日本唯一の紙祖神として崇められる川上御前を祀る岡太神社・大瀧神社など、和紙文化が息づく落ち着いた佇まいに、たくさん発見があるはずです。



**詣る**

**岡太神社・大瀧神社**

この里に紙漉きの業を伝えた女神・川上御前を紙祖神として祀る「岡太神社」と、古社「大瀧神社」。神体山・権現山の頂上にある奥の院には両神社の本殿が並び建ち、その麓に建つ里宮にはこれを併せて祀られる。本殿・拝殿が独自の屋根によって一体となった社殿には精緻な丸彫り彫刻が施され、江戸建築文化の粋を集めたものとして、国の重要文化財にも指定されている。



**つくる**

**パピルス館**

誰もが紙漉きを楽しめる体験型施設。和紙の原料である楮の繊維を漉き桁と呼ばれる木枠に汲んだら均一になるように漉き、押し花や染料などで好みの柄にデザイン。色紙やハガキ、コースターなど、自分だけの和紙アイテムを作ることができる。また併設された売店には、越前和紙グッズが充実。美しい和紙や小物、インテリアなどを購入することができる。



**感じる**

**卯立の工芸館**

昔ながらの道具を用いた和紙づくりの全工程を見学できる。建物は江戸時代中期に創建された紙漉き家屋を移築・改修したもの。正面玄関上の屋根に取り付けられた独特の様式「妻入り卯立」をはじめ、広々とした土間、囲炉裏のある板間など、当時の手漉き職人の営みをうかがい知ることができる。本格的な「流し漉き体験(要予約・有料)」もおすすめ。



**学ぶ**

**紙の文化博物館**

歴史、製作工程、名工など、あらゆる角度から越前和紙の魅力に触れることができる博物館。パネルや映像での紹介のほか、約120点にもおよぶ代表的な和紙を展示。また新しい和紙の使い方を提案する「和紙の生活提案コーナー」やさまざまな和紙を実際に手に取りその質感を楽しめる体験コーナーなど、越前和紙の多様性と奥深さを堪能できる。



## ウェブストアPapermallにて セルロースナノファイバーの取り扱いを開始

当社の運営するウェブストア「Papermall」は、国内では初めて素材としてのセルロースナノファイバーの通信販売を開始しました。取り扱い商品は、株式会社スギノマシン(本社:富山県魚津市 社長:杉野太加良)が製造・販売するバイオマスナノファイバー「BiNFi-s(ピンフィス)」の評価用トライアルセットで、国内の企業・団体・個人のお客さまに、制約なしで販売いたします。

「BiNFi-s」は、再生可能な天然資源と言われている「セルロース・キチン・キトサン」をスギノマシン独自のウォータージェット技術で加工した直径約20nm、長さ数μmの「超・極細繊維」です。一般的にはナノセルロース、セルロースナノファイバー、キチンナノファイバーおよびキトサンナノファイバーなどの名称で呼ばれており国内だけでなく海外でも応用研究が盛んに行われています。

トライアルセットは、BiNFi-sシリーズの中から、セルロースナノファイバーやキチンナノファイバーなど代表的なタイプを1kgずつ複数種のセット品として提供するものです。

### 「BiNFi-s(ピンフィス)トライアルセット」の特徴

1. 「水」と「原料」のみで製造したクリーンな天然由来ナノファイバーです。
2. 高粘性でありながら、水に溶解していないため、ベタ付きが少なく、サラリとした触感が得られます。
3. 分散・乳化安定性、保水性、増粘性、透明性、補強性などの基本特性や品種固有の特性を有します。
4. 繊維長の違いで特性が異なる複数種のセルロースナノファイバーがセットに含まれています。
5. 工業用グレードは8種セット、食添由来グレードは5種セットです。



■ BiNFi-s(ピンフィス) : [www.kpps.jp/papermall/special/cnf](http://www.kpps.jp/papermall/special/cnf)

## 統合報告書2017を発行

当社グループの「統合報告書」2017年度版を発行しました。

同書は財務状況に加え、環境・社会・コーポレートガバナンスなどの取り組みについても掲載した当社の包括的な年次報告書となっております。今後はステークホルダーのみならず、コミュニケーションツールとして同書を活用してまいります。なお、統合報告書は当社ウェブサイトでも閲覧可能となっております。

■ IR財務情報ページ : [www.kppc.co.jp/ja/ir/finance.html](http://www.kppc.co.jp/ja/ir/finance.html)



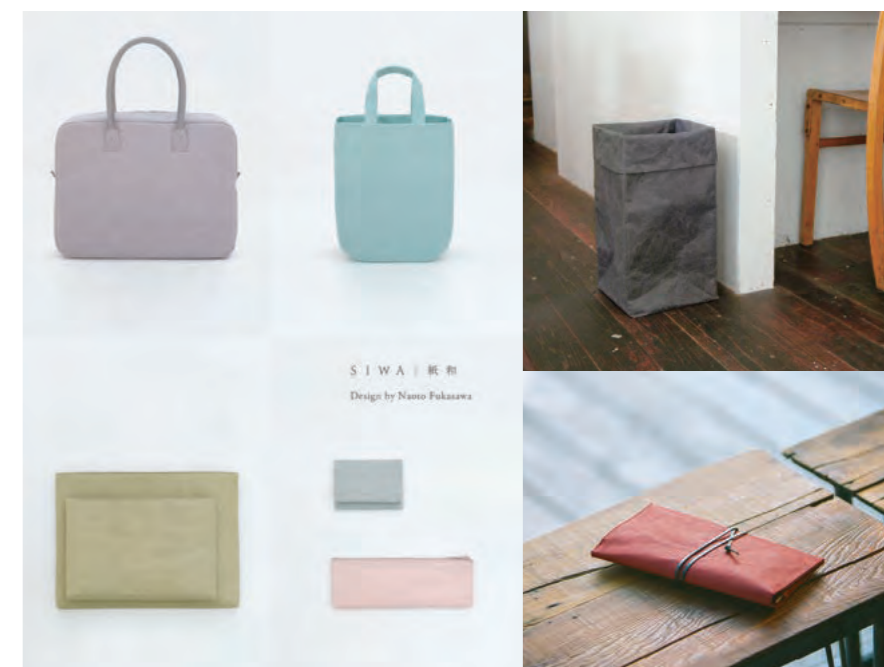
## 編集後記

北国で生まれ、そして冬の寒い時期に産声をあげた私にとって、夏の暑さはとにかく体に堪えません。それでも夏の楽しみといえば、冷たいビールが美味しいということでしょうか。冬の時期に夏のことを思っても「やっぱり冬がいい」。「寒ければヒートテックだって、ダウンだって、その上カイロだってある」。そして10月は実りの秋。新米、秋刀魚、旬の食材と美味しいものがいっぱい。脂肪を蓄え、冬に備えますか(笑)。(J・S)

今年の夏はあまり夏らしいこともせずに過ぎていきましたが、その中でもいくつかの楽しい思い出がありました。そのひとつは、家の近所の花火を見たことです。日曜の夕食後、散歩に出ると音が聞こえ、偶然にも今日が花火大会だという気がついたのです。遠くに見える花火の方向へ向かってひたすら早歩きで進み、会場に辿り着いたときはちょうどピクニックで楽しんでいた。たった10分間でしたが花火を楽しむことができたことで、小さな達成感を得ました。こんな花火の楽しみ方も、健康のためにはいいかもしれません。(M・I)

## 第3回テーマ 雑貨ブランド「SIWA | 紙和」が、新シリーズを発表

山梨県市川大門に本社を構え、障子紙をはじめとする和紙製品の製造・販売を幅広く展開する(株)大直が、日本を代表するプロダクトデザイナー、深澤直人さんとコラボ。紙の可能性を広げる試みとして誕生した日用品ブランドが「SIWA | 紙和」です。独自に開発した新素材「ナオロン」を用いることで、革のような独特の肌触りと使い込むほどに味が出るやさしい風合いを表現。紙ならではの軽さを生かしつつ、強靱かつ水にも強い機能性を兼ね備えたプロダクトとして、23カ国に輸出されるなど海外にも愛好者を広げています。その「SIWA | 紙和」が9月、3年ぶりとなる新シリーズを発表。ペールトーン(淡色)の新色アイテムを数量限定で販売しています。名刺ケースや文庫カバーといった小物から、普段使いのトートバッグまで、7アイテム各4色のラインナップが追加されました。愛着をもって長く使える和紙アイテム「SIWA | 紙和」を、秋の装いに加えてみませんか?



カラーは、秋の新色(ペールブルー、ペールパープル、ペールグリーン)の3色に加え、人気のピンクも復活。名刺ケース/文庫カバー/ブリーフケース(wide)/バッグラウンド/タブレットケース/トートバッグ/葉っぱの葉のラインナップ。

「SIWA | 紙和」のお求めは  
PAPER MALL から

ペーパーモール

検索

携帯は  
コチラから



[www.kpps.jp/papermall/](http://www.kpps.jp/papermall/)

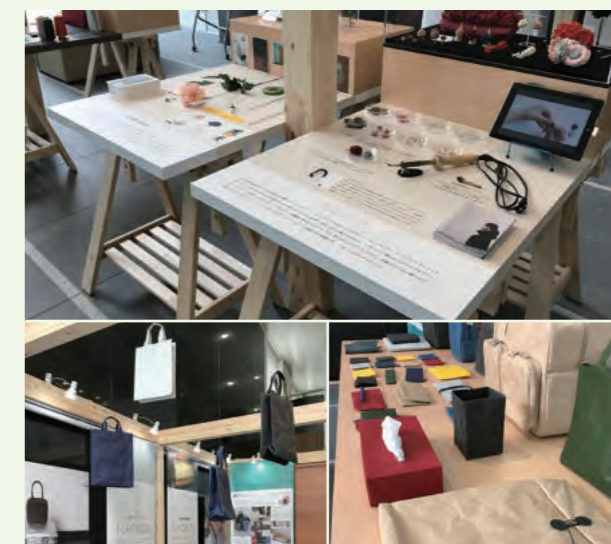
限定の新色は店舗にて 「SIWA Collection 東急プラザ銀座店」 東京都中央区銀座5-2-1 東急プラザ銀座6F TEL:03-6264-5344

## 伝統の中に新しい技術を盛り込んだ素材「ナオロン」 その魅力に迫る製品展示をKPP本社で開催中

10月27日まで開催の第4回「TSUNAGU GALLERY」では、和紙の特性を生かしたブランド開発を続ける(株)大直の製品を展示しています。実際の製品と構成するパーツ素材を並べ、その魅力を紹介。和紙漉きの製法でつくられた新素材「ナオロン」のプロダクトラインは現在「SIWA | 紙和」のほか、フラワーアーティスト・篠崎恵美氏がデザイン、ディレクションを担当したハンドメイドフラワー「PAPER EDEN」、NYを拠点に活動するハットデザイナー・ヒシカワアユコ氏とのコラボレーションから生まれたペーパーアクセサリー「AYUKO HISHIKAWA Paper Accessory」の3ブランド。和紙の風合いを持った素材の潜在的な魅力を存分に感じられるギャラリーに、ぜひ一度足をお運びください。

### TSUNAGU GALLERY vol.4 | EDGE of PAPER

- 会期:10/27(金)まで【入場無料】
- 会場:国際紙パルプ商事本社1Fエントランス
- 時間:9:00~17:00(平日のみ)



TOPICS!

～10/22(日)

EXHIBITION

## 「かみ コズミックワンダー と工芸ぱんくす舎」展

現代のアートシーンにおいて国際的な活動を展開する「コズミックワンダー」の主宰・前田征紀さんと工芸作家・石井すみ子さんによるユニット「工芸ぱんくす舎」による展覧会。和紙製の工芸作品を中心に、紙の新たな可能性を探る作品を発表します。



パフォーマンス「お水え」 撮影：長島有里枝



うみかみ紙衣 上衣 下衣 小浜海岸の海藻を漉き込んだ楮和紙 コズミックワンダー

DATA

- 会場：資生堂ギャラリー（東京都中央区銀座8-8-3 東京銀座資生堂ビルB1F）
- 料金：無料
- 問い合わせ：資生堂ギャラリー
- TEL：03-3572-3901
- HP：www.shiseidogroup.jp/gallery

10/3(火)～6(金)

EXHIBITION

## JAPAN PACK 2017 (2017日本国際包装機械展)

DATA

包装に関する最新情報を発信する、2年に一度の総合展示・商談会。最新技術・製品の展示のほか、出展社によるプレゼンテーションセミナー、優秀製品・技術を表彰するアワードなど、多彩な併催企画も実施されます。

- 会場：東京ビッグサイト 東展示棟1～6ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- 料金：無料（ただし、展示会招待券が必要）
- 問い合わせ：事務局
- TEL：03-6222-2277
- HP：www.japanpack.jp

10/14(土)～11/14(火)

EXHIBITION

## 神の手・ニッポン展 @長野

DATA

繊細な手技と日本人ならではの美意識が詰まったアート作品を集めた合同展示会。長野で開催される同展では、人気のペーパーアーティスト・太田隆司さん、立体切り絵作家・SouMaさんも出展を予定しています。

- 会場：井上アイシティ21 3Fウェルアップホール（長野県東筑摩郡山形村7977）
- 入場料：一般1,000円 小・中学生400円 ※未就学児童無料
- 問い合わせ：テレビ信州チケットセンター
- TEL：026-225-0055
- HP：www.kaminote.org

10/28(土)・29(日)

EVENT

## 第5回 富士山紙フェア

全国屈指の「紙」のまち、静岡県富士市で開催される、まさに紙づくしの参加型イベント。ペーパーアート作品の展示、紙工作体験のほか、製紙会社による紙製品の展示・即売、ステージパフォーマンスなど、子どもから大人まで楽しめる催しが目白押しです。



トiletペーパー積み上げコンテスト



ふじさんかざぐるま作成教室  
写真提供：富士市役所 産業政策課

DATA

- 会場：ふじさんめっせ 富士市産業交流展示場（静岡県富士市柳島189-8）
- 入場料：無料
- 問い合わせ：富士市役所 産業政策課
- TEL：0545-55-2779
- HP：www.fujisan-kamifair.net

11/13(月)～15(水)

EXHIBITION

## 第6回 KPP総合展示会

DATA

2年に1度開催するKPPグループの総合展示会。機能性に優れた素材やお客さまのビジネスチャンスを広げるソリューションをご提案させていただく場となっています。

- 会場：国際紙パルプ商事 東京本社（東京都中央区明石町6-24）
- 料金：無料
- 問い合わせ：経営企画本部 CSR・広報課
- TEL：03-3542-4169
- HP：www.kppc.co.jp

12/7(木)～9(土)

EXHIBITION

## エコプロ2017～環境とエネルギーの未来展

DATA

環境に関するビジネス・技術開発・新素材のトレンドなど、次世代環境情報が集結する一大展示会。環境・エネルギー動向に関するさまざまな参加企画も用意されています。当社も出展を予定しています。

- 会場：東京ビッグサイト 東ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- 料金：無料（登録制）
- 問い合わせ：事務局
- TEL：03-6812-8686
- HP：www.eco-pro.com/2017

※開館日、開館時間などは、各ホームページにてご確認ください。 ※イベント、展示は、諸事情により変更される場合があります。おでかけの際は、事前にホームページまたはお電話にてご確認ください。



輸送マイルージとCO2排出を抑え、地球温暖化に配慮したライスインクを使用しています。



針金・糊・熱が不要な製本方法を採用し、リサイクルや怪我の危険へ配慮しています。



国際紙パルプ商事株式会社  
KOKUSAI PULP&PAPER CO.,LTD.

発行：経営企画本部 経営企画部 CSR・広報課  
〒104-0044 東京都中央区明石町6番24号  
TEL (03) 3542-4111 (代)

URL <http://www.kppc.co.jp/>



## 作る

紙と触れ合い、モノを作る

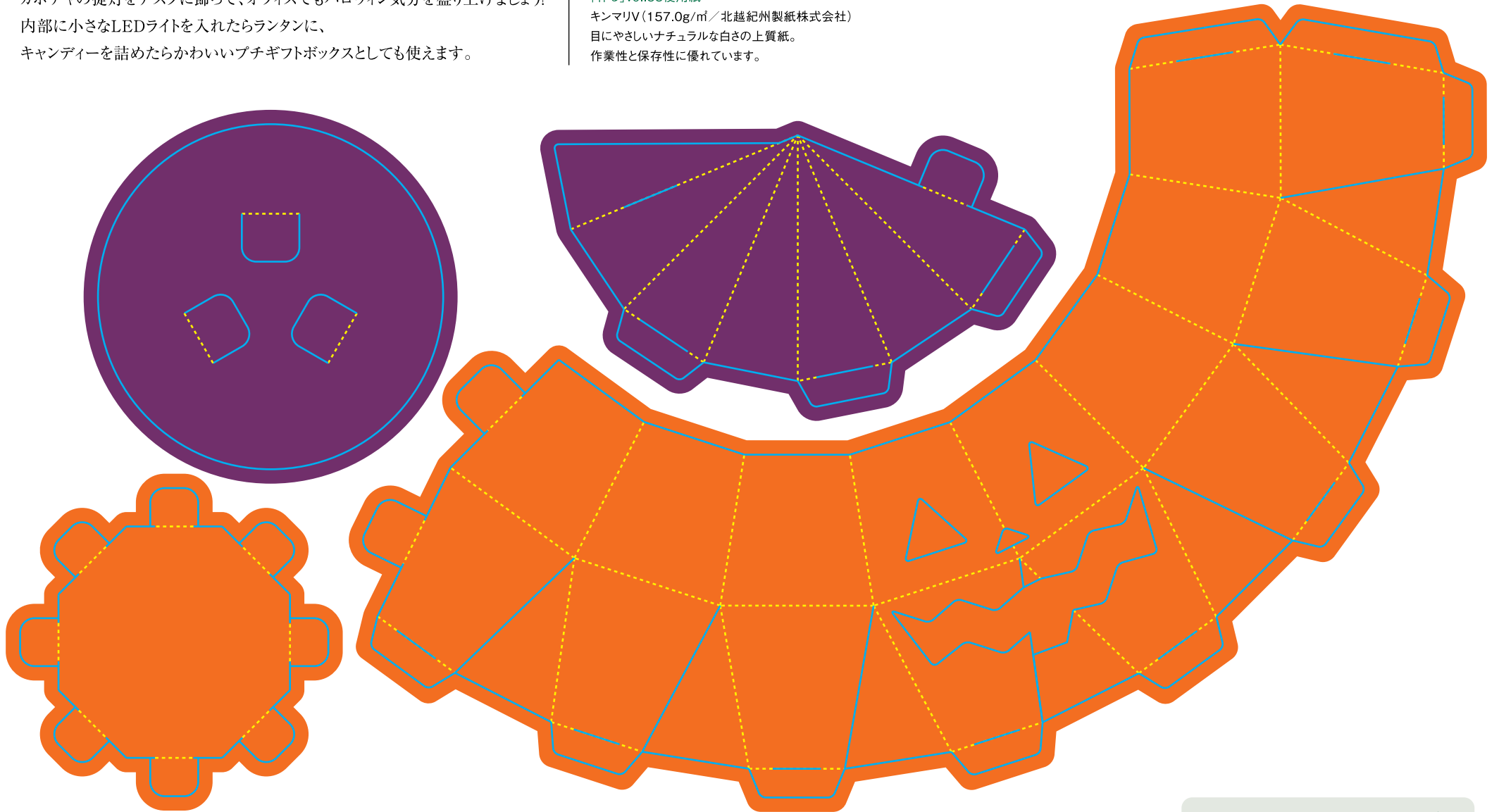
## 「PAPERCRAFT on the DESK」

## ハロウィンを盛り上げる「ジャック・オ・ランタン」

カボチャの提灯をデスクに飾って、オフィスでもハロウィン気分を盛り上げましょう!  
内部に小さなLEDライトを入れたらランタンに、  
キャンディーを詰めたらかわいいプチギフトボックスとしても使えます。

「作る」vol.33使用紙:

キンマリV(157.0g/m<sup>2</sup>/北越紀州製紙株式会社)  
目にやさしいナチュラルな白さの上質紙。  
作業性と保存性に優れています。



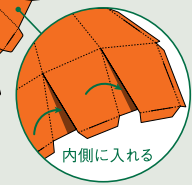
# 作り方

はじめに抜き型に沿って、各パーツを切り取ります。

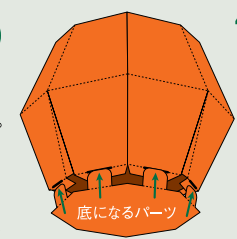
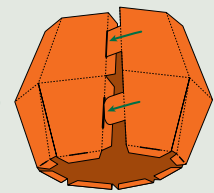
パーツはすべて、オモテ面は山折、ウラ面は谷折となります。



1 カボチャの顔にあたる部分を切り取り、折り目をすべて山折にします。

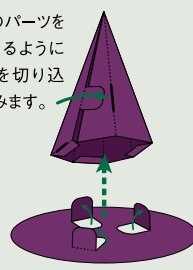


2 丸く折ったら、図を参考に突起を切り込み部分に差し込みます。



3 底にあたるパーツの8つの突起を折り、切り込み部分にしっかりと差し込みます。

4 ハット(紫)のパーツを六角錐になるように折り、突起を切り込み



完成!

5 最後に丸いパーツにある3つの突起を立ち上げ、ハットにしっかりと差し込みます。

